

西東京市市民協働推進センター事業 令和3年度事業実績報告書（西東京市からの受託事業）

1. 西東京市市民協働推進センター（以下、センターという）は、平成21年の設立から13年。第4期である今期は「個」の支援や教育機関との協働において強みを持つ西東京ボランティア・市民活動センターと情報共有等を通じた連携のもと、「あつまる」「つながる」「ささえる」を理念に事業展開を実施します。企業等との協働を通じて地域共生社会実現を目指したセンター運営を継続します。
2. センターは中間支援組織として、市民活動団体の自立・継続に向けてきめ細やかな情報提供、アドバイス、コーディネーターなどのサポートを強化、社会情勢に迅速に対応しながら協働を推進していきます。

事業	当初計画(年間)	実施内容・実施日(参加者数等)	成果と課題
<p>広報・PR事業</p>	<p>地域連携の促進やセンターの広報・PRの充実を図るために、各種情報媒体を積極的に活用しながら、「活動者が得たいと思う情報」を広く周知していきます。ホームページの機能充実にむけた検討を行います。</p> <p>○センターの情報発信及び情報の更新、周知活動 ○他団体・組織やイベントでの連携</p>	<p>① センターの情報発信及び情報の更新、周知活動 ○ホームページの充実、SNSの活用、リアルタイムな情報を提供 ○機関紙「ゆめこらぼ通信」の発行 機関紙の発行(6・9・12・3月号、各号1,000部、12月号のみ1,500部発行) ○団体紹介冊子の発行・配架</p> <p>② 他団体・組織イベントでの連携 ○協力団体・企業、施設の確保 ○西東京ボランティア・市民活動センターのイベントへの参加(3/15オンライン支援)</p>	<p>① センターの情報発信及び情報の更新、周知活動 ホームページにおいて開館状況を随時お知らせしている。ゆめこらぼ主催のイベントの情報やサロン内の特集コーナーをFacebookも利用し発信している。 団体紹介冊子は市内全ての小・中学校、公共施設及び市役所全ての課へ配布し市民活動の情報が行き渡るよう広報に務めた。また、全児童館にも団体紹介冊子を配架した。</p> <p>② 他団体・組織イベントでの連携 登録団体からZoomでYoutubeを利用した配信をしたいなど相談があり技術支援を行った。また、行政からはZoomでの講座や会議を開催するにあたりホストなどの支援を行い、行政に少しずつだがオンラインの必要性をアピールしている。 市内のスポーツ施設指定管理者(東京ドームグループ)の協力を得て、通信等を配架することになった。 他団体のオンラインイベントに参加しゆめこらぼの活動をPRした。 西東京ボランティア・市民活動センターとの連携においてオンラインの技術支援を行った。</p>

事業	当初計画(年間)	実施内容・実施日(参加者数等)	成果と課題
<p>情報収集・提供事業</p>	<p>現在活動している市民活動団体の情報及び市民活動に関連する情報を迅速に集約・発信し、市民活動に関する市民の理解や認知度の向上、市民参加の促進を図ります。</p> <p>○市民活動団体の情報収集・提供 ○市民活動の情報収集・提供</p>	<p>① 市民活動団体の情報収集・提供</p> <p>○機関紙「ゆめこらぼ通信」で情報提供(年4回) 団体の活動紹介(6団体)</p> <p>○地域密着型メディア各社との連携</p> <p>○まちテナ西東京(情報ステーション)との連携</p> <p>○ホームページで団体のイベント情報を発信(団体のイベント情報、パンフレット、機関紙)</p> <p>○イベント情報の発信</p> <p>○団体紹介冊子の発行(1月) 市民フェスティバルに合わせて団体紹介冊子を1,500部発行</p> <p>② 市民活動の情報収集・提供</p> <p>○社会情勢に迅速に対応した支援情報を収集、ホームページ等での情報提供</p> <p>○近隣7市との情報連絡会や日本NPOセンター主催のCEO会議等に参加し、情報収集・提供 日本NPOセンター総会(6/4 Zoom開催) CEO会議(6/28-29、2/9リアル&Zoom開催) 近隣7市情報連絡会(1/13 Zoom開催)</p>	<p>① 市民活動団体の情報収集・提供</p> <p>ホームページのアクセス数は40,113件、市民活動に対する認知度の向上に寄与することができた。</p> <p>70号でまちづくり円卓会議「みんないろいろ～LGBTQから話し合おう～」の報告を掲載、71号ではゆめこらぼが市民活動の情報発信基地として支援していること、72号はNPO市民フェスティバルの広報、NPOパワーアップ講座「クラウドファンディングわくわく活用術」の報告と豆知識を掲載、73号は今年度の活動を年表形式で掲載することで情報を可視化して提供した。</p> <p>② 市民活動の情報・提供</p> <p>助成金情報等をホームページに掲載(78件) 新型コロナウイルス感染拡大による影響も2年目となり、地域の活動内容は安定してきたが、オンラインが普及する中でのネットワーク難民の救済は必要と考え、メーリングリストやホームページで情報提供に努めた。</p> <p>近隣7市連絡協議会※では次年度より町田市も参加することとなった。 CEO会議では、内閣府の方がメンバーにいたため政策等の新しい情報を入手することができた。 ※小平市、八王子市、日野市、府中市、三鷹市、調布市と西東京市の7市の中間支援組織が自発的に集まって情報交換、意見交換を行っている。</p>

事業	当初計画(年間)	実施内容・実施日(参加者数等)	成果と課題
相談事業	<p>多様な主体(市民、NPO等市民活動団体、企業、行政職員、教育機関等)がよりよい形でパートナーとなり協働を推進するため、また、各団体が自立的でかつ継続的に活動ができるよう、市民活動を支えるセンターとしての役割を担います。</p> <p>西東京ボランティア・市民活動センターと連携し、相談業務の充実を図ります。</p> <p>○相談業務</p>	<p>① 相談業務</p> <p>センター職員により相談対応する相談件数79件</p>	<p>① 相談業務</p> <p>多岐にわたる相談内容に対応している。また、今年度は行政から紹介されて相談に来る市民も増えており、情報提供の場となっている。</p>
人材、 【団体育成・研修事業】重点事業	<p>市民参加を促す意識啓発、市民活動に必要な知識を習得する研修を行い、第四期が終了する時には誰も取り残さない「皆で支え合う地域共生社会」実現のために事業を展開します。</p> <p>事業を通じて人材、団体育成の更なる推進を図ります。</p> <p>○NPOパワーアップ講座の開催(年1回)</p> <p>○サロンDEこらぼの開催(通年)</p>	<p>① NPOパワーアップ講座の開催</p> <p>○「クラウドファンディングわくわく活用術」を開催(10/2) 参加者20名</p> <p>② サロンDEこらぼ</p> <p>○NPOパワーアップセミナー参加者を対象に案内(10/16) 2名</p> <p>○多者協働のまちづくり参加者を対象に案内(12/4) 2名</p>	<p>① NPOパワーアップ講座の開催</p> <p>「クラウドファンディングわくわく活用術」をオンラインで開催。講師に鎌倉幸子氏を招いて、クラウドファンディングの基礎から進め方まで事例を挙げた内容となり、具体的でとても分かりやすく、参加者からはクラウドファンディングをやってみようと思ったとの感想があがっていた。オンラインを利用することにより参加者の幅が増えた。</p> <p>② サロンDEこらぼ</p> <p>展示コーナーは毎月テーマを決め関連の団体の資料とともに図書館のレファレンスサービスを利用しテーマと関連した図書の展示をすることにより図書館との協働を行っている。初めての試みとしてオンラインカフェを2回開催し講座などの感想を聞くことができた。</p>

事業	当初計画(年間)	実施内容・実施日(参加者数等)	成果と課題
<p>地域連携促進事業</p>	<p>地域課題を解消するために市民活動団体、地縁団体、企業、教育機関、行政等が相互に交流、連携、協働するため、コーディネート機能を有効に発揮し、地域連携の更なる促進を進めます。</p> <p>○団体交流会 ○協働のまちづくりワークショップ ○NPO市民フェスティバル ○まちづくり円卓会議</p>	<p>① 団体交流会 ○団体の交流会をオンライン開催(1/29) 参加15団体・15名</p> <p>② NPO市民フェスティバル ○実行委員会を開催(全9回) 実行委員会含む(7/21、8/5、9/9、10/14、11/11、12/9、1/13、2/10) ○参加団体説明会を開催(9/25) 参加15団体 動画総再生回数:950回</p> <p>③ 多者協働のまちづくり ○なくしたい!「子ども・若者のいきづらさ」(11/13) 参加者26名</p>	<p>① 団体交流会 1時間と限られた時間であったが、3月31日まで開催されているNPO市民フェスティバルへの誘致のアイデア出しなどを行った。また、交流会で活動内容を知った団体同士が後日連絡を取り合い他団体の活動につながる等ゆめこらぼが中間支援組織としての役割を果たしている。</p> <p>② NPO市民フェスティバル 昨年同様オンライン開催となった。FM西東京のウィークエンドボイスへ広報で出演。実行委員の判断により今年度も展示会場での展示は中止となったが、代替え案としてゆめこらぼサロンコーナーにて希望団体を対象にサロン内展示を行った。新しい試みだが、展示物を目的にした来訪者が多数あった。</p> <p>③ 多者協働のまちづくり 講演とワークショップをリアルに人を集めて開催。生きづらさを無くすという言葉と内容にギャップがあったが、講演とワークショップの二本立てにより内容が理解しやすかったこと、挨拶をすること、褒めること等基本的な学びを通し、自分たちの声掛けにより風通しの良い環境を作ることが出来るなど参加者には気づきの場となった。</p>

事業	当初計画(年間)	実施内容・実施日(参加者数等)	成果と課題
<p>地域連携促進事業</p>	<p>地域課題を解消するために市民活動団体、地縁団体、企業、教育機関、行政等が相互に交流、連携、協働するため、コーディネート機能を有効に発揮し、地域連携の更なる促進を進めます。</p> <p>○地域コミュニティ施策への協力 ○教育現場とNPO等市民活動等との連携</p>	<p>④ 地域協力ネットワークの連携強化</p> <p>○南部地域協力ネットワークの総会、定例会に参加(5/20、7/14、9/15、11/16、1/12、3/15)</p> <p>○北東部地域協力ネットワークのモデル会議に参加(12/21)</p> <p>○地域情報発信ラジオ番組(第2回放送5/15、第3回放送7/17、第4回放送9/18、第5回放送11/20、第6回放送1/22、第7回放送3/19)</p> <p>⑤ 社会教育委員会及び研修への参加</p> <p>○社会教育委員会(全8回) (4/23、6/25、7/30、8/27、9/24、10/22、11/26、12/24、1/28、3/25)</p> <p>○地域学校協働活動等での活用促進</p>	<p>④ 地域協力ネットワークの連携強化</p> <p>2月20日コミュニティーデザイナーの山崎亮氏を講師に「もっと楽しい地域活動のススメ～みんなを元気にするコミュニティーのデザイン～」と題した講演会の実施に協力。ゆめこらぼの支援により、南部、西部、中部の協力ネットワークをつなぎ合同オンライン講演会を成功させた。</p> <p>市と一緒に番組をつくり生放送を開始して一周年を迎えた。</p> <p>⑤ 社会教育委員会及び研修への参加</p> <p>今年度から始まった地域学校協働活動のモデル校(小学校1校・中学校1校)の現状の共有と課題が見えてきた。次年度新たに小学校3校、中学校4校の地域学校協働活動が始まる。</p>
<p>施設の提供及びその他事業</p>	<p>市民活動を支えるために、利用しやすいサロンスペースや機材の提供を行います。また、サロンスペースにて、団体のオンライン活用に向けた機会提供を検討、試行します。感染症対策を含む社会状況を鑑み、安心して利用できる環境、機会を提供します。</p> <p>○サロンスペースの提供 ○機材の提供 ○登録団体に対し、メールボックスの提供 ○その他の事業</p>	<p>① 施設・機材の貸出・提供</p> <p>○登録団体：189団体 ○サロンスペースの提供 来訪団体数：984団体、来訪者数：2,211名、サロンスペース：842名 ○機材の貸出・提供 164件 コピー機：13件、印刷機：138件、紙折り機・裁断機：51件、ラミネーター：66件、AV機材：56件 ○登録団体に対し、メールボックスの提供112個</p>	<p>① 施設・機材の貸出・提供</p> <p>サロンスペース、プロジェクター等機材及びラミネーターの利用者数は昨年同様に激減。 施設の提供も含め、機材やメールボックスの提供があることの周知を継続していく。 ipadやPCの貸出し、zoomの支援が増加。Zoomの支援により市内部でzoomのアカウント取得への動きが出てきた。</p>

事業	当初計画(年間)	実施内容・実施日(参加者数等)	成果と課題
運営及び維持管理	市民の声を反映するため運営委員会を設置する。 事業充実にむけ、研修によるスタッフの資質向上を図る。 運営における維持管理を行う。 第三者評価の実施 ○運営委員会の開催 ○研修会への参加 ○事業実施に向けたセンター運営及び維持管理	① 運営委員会の開催 (4/20) 12名、(5/18) 12名、(7/20) 11名、(10/19) 11名、(12/21) 9名、(2/15) 11名、(3/15) 9名 ② 研修会への参加 (5/24、6/29、7/15、10/29、10/30、11/19、11/23、1/26、2/1、2/23、2/26、2/27) ③ 運営における維持管理(常時) ○設備・機材の維持管理 ④ 第三者評価委員会開催 ○第四期の第三者評価の進め方(11/8、11/20)	① 運営委員会の開催 Zoomでの開催が定着し出席率も高くなり、有用な協議がなされている。 委員の一名が産休のため2月より委員の交替があった。 ② 研修会への参加 Zoomなど選択肢が増え、研修に参加しやすくなり、職員のスキルアップにつながっている。 ③ 運営における維持管理(常時) 職員の資質向上及び、事業のサービス向上を目指し、利用しやすいセンターの提供をしていく。 ④ 第三者評価委員会開催 今年度より、実施方法について市と協議し毎年実施することとした。今年度は評価委員を2名選出し評価を行った。おおむねA評価であったが、外出や休暇などでセンターに2名の職員を常時確保することが難しく、仕様書の条件を満たさないためにB評価となった部分について、市と協議する必要がある。